

リニア中央新幹線について

- 2027年度にリニア中央新幹線(東京－名古屋間を40分)が開業予定
- リニア開業による首都圏との時間短縮効果をより広域的に波及させるため、名古屋駅のスーパーターミナル化、名古屋駅からの鉄道ネットワークの充実強化等の取組を推進

リニア中央新幹線の整備



東京－名古屋間:所要時間40分
東京－大阪間 :所要時間67分

経緯

- 2011年 5月 整備計画の決定
- 2014年10月 工事実施計画(その1)の認可
- 2014年12月 着工
- 2018年 3月 工事実施計画(その2)の認可
- 2018年10月 大深度地下使用の認可

概要

区間	品川・名古屋間
路線延長	285.6km トンネル: 246.6km (約86%) 高架橋: 23.6km (約8%) 橋りょう: 11.3km (約2%) 路盤: 4.1km (約2%) (山梨リニア実験線を含む)
総工費	5兆5,235億円(※)

※「中央新幹線品川・名古屋間の総工事費に関するお知らせ」
(2021年4月JR東海発表)において、7.04兆円となる見通しを発表

愛知県内の主な工事状況



駅部 (開削工法) 都市トンネル (シールド工法) 山岳トンネル (NATM)



①名古屋駅 (在来線部)



②坂下非常口



③西尾非常口・保守基地

建設促進期成同盟会

リニアの早期建設等を目的として、以下の同盟会を設立

○リニア中央新幹線建設促進期成同盟会 (1979年11月7日設立)

- ・会長: 愛知県知事
- ・副会長: 東京都、神奈川県、山梨県、静岡県、長野県、岐阜県、三重県、奈良県、大阪府の各都府県知事

○リニア中央新幹線建設促進愛知県期成同盟会 (1978年8月15日設立)

- ・会長: 愛知県知事
- ・副会長: 名古屋市長、名古屋商工会議所会頭、中部経済連合会会長
- ・構成員: 県内全市町村等